

令和7年度「子どもの居場所づくり推進基金」助成団体一覧

No.	団体所在地	団体名	代表者	実施内容・目的
1	徳島市	川内サードホーム	岩 佑子	学習支援・イベント 第3の居場所での体験活動の中で子どもの豊かな感性を育み、明るい未来に繋げる。
2	徳島市	特定非営利活動法人XOXO	竹内 昌夫	子ども食堂・多世代交流 地縁、血縁の薄れを補うために、第三の縁を作ることによって、「孤」の問題に対処することを目的とする。
3	徳島市	自立支援団体はやぶさ	川村 敏仁	イベント 不登校児や引きこもりの状況を改善する
4	徳島市	たみやニコニコ子ども食堂	元木 弘	子ども食堂・子育て支援 食事の提供を通して地域の子どもやその保護者の居場所をつくり、子どもの孤食を防ぐ、また育児等による親の負担の軽減を図る。
5	徳島市	キッズピカソクラブ	平田 真弓	子育て支援・学習支援 障がい児や障がいをもつ家族の安全・安心な居場所を提供する。
6	徳島市	ぼかぼか食堂	村崎 弘汰	学習支援・子ども食堂・多世代交流 子どもたちと年齢に近い大学生が主体となった子どもたちの「居場所づくり」。
7	徳島市	特定非営利活動法人 徳島の子育てに伴走する会 マチノワ	白桃 里美	子ども食堂・子育て支援 核家族やシングル、高齢出産、地域とのつながりの希薄化等の影響で、子育て家庭の「孤独孤立」や「産後うつ」などが課題となっており、安心して過ごせる居場所を求めている状況にある。育児の不安や悩み、負担の解消や、食を通じて親子の交流を促進し、地域住民同士のつながりを強化する。この活動により、育児不安の軽減や地域コミュニティの活性化を図るとともに、子どもが多様な人との関わりや体験を通じて成長できる環境を整えるものである。
8	鳴門市	せとの子ども食堂～親子塾～	尾形 丹士	子ども食堂・フードパントリー・多世代交流・イベント 瀬戸地区は少子高齢化が急速に進み、若い世代の定着率も低い。子どもや高齢者の居場所作りを推進することにより、多世代交流が図れる。さらに、「地域のコミュニティの場」として、定着することによる、地域福祉の充実につながる。食を通じてのコミュニケーションと親子塾による楽しみながらの学びの提供を通じて心の豊かさをも育む。
9	鳴門市	ねんねこなと	中川 佐智子	子育て支援 全ての鳴門市民により、子育てする地盤を作ることを目的とし、妊娠中の方や未就学児を育てている家庭の孤立を防ぐとともに、多世代の地域住民の交流を図る。 核家族化や少子高齢化が進む中、子育て世代が、親族や近所との交流がなく孤立した状態で子どもを育てる「孤育て」状態になることが全国的にも課題となっている。鳴門市の各種支援事業も展開されているが、多世代の地域の方との交流もでき、より身近に気軽に参加できる活動を目指す。
10	鳴門市	多世代交流 テラス	三木 奈美子	子ども食堂・多世代交流・イベント 共働き世帯や一人親家庭のこどもの孤食や虐待を防ぐ、及び高齢世帯の増加等に伴う高齢者の孤立を防ぎ、世代間の交流を図る。
11	鳴門市	特定非営利活動法人サラスヴァティー	米田 壽夫	こども食堂・学習支援・イベント 2024年から并財天振興会(特定非営利活動法人と役員は同じ)として月1回開催した子ども食堂と学習支援の経験から、食の提供だけでなく、学習支援だけでなく体験活動、ボランティア活動なども取り入れ、子どもの居場所づくりを目標とした。
12	吉野川市	川島えがお倶楽部	明石 真和	こども食堂・イベント 子どものいじめや虐待を防ぎ、子ども食堂等を通じて交流をし、困りごとの相談を受ける。
13	阿波市	ワイワイこども食堂	森本 直穂子	子ども食堂・多世代交流・イベント 様々な子どもたちに対し、食事や遊びを通じて、多世代交流の場として、子どもたちの個食防止や見守り、安心して過ごせる居場所づくりを目的とする。
14	阿波市	五明テラス	三浦千代	イベント・こども食堂 もと空き家を活用し、地域の異年齢交流を行う。子供たちの異年齢はもちろん、大人も、地域の方や移住者、お年寄りの方との交流を楽しむことのできる場所を提供する。駄菓子コーナーや、人口減少で難しくなった日本の行事、国際交流の場なども取り入れ、異年齢が楽しく交流できる場をつくる。
15	阿波市	いちば子ども食堂～一期一会～	来田 美晴	こども食堂・多世代交流・イベント 地域の子ども達とお年寄りが一緒にご飯を食べる場を提供し、多世代が交流する「みんなの居場所」をつくる。
16	三好市	子育てグループ くろーばー	嵯峨原 久美子	こども食堂・イベント 核家族やひとり親家族の増加等に伴う孤食や虐待を防ぐ。 地域の方々と共に色々なイベントを開きたい。
17	三好市	いかわっこ	佐藤 豊美	多世代交流・イベント・学習支援・子ども食堂 不登校な子ども、又家族の事情により昨今、孤独を感じる子ども、栄養面を懸念する子どもが増えてきている為、手作りの食事を提供することで栄養の改善、孤食解消に繋げることを目的に実施する。

18	三好市	ぼんぼこ食堂	川上 良枝	子ども食堂・イベント 山間部に位置し、少子高齢化が進むなか、「不登校」「ひきこもり」状態にある人の増加は、地域課題となっている。また、子育て世代が気軽に集まり相談できる場もない。地域の人々がつながる交流拠点としての居場所を目的として実施する。また、課題の早期発見、孤立予防、支援に繋げていく。
19	三好市	特定非営利活動法人 みよしサポート協会 びあぞら	天野 雄二	こども食堂・学習支援 地域の子どもたちやその家族に対して安全で安心できる居場所を提供する。 近年増加している不登校の予防及び支援を行う。 生活困窮の家庭に物資等の援助を行う。
20	三好市	こども食堂 ぶどうの木	山本 裕美	こども食堂・子育て支援・イベント 社会問題である虐待にネグレクト、その原因にもなりえる孤独な孤育てを少しでも防ぐ為に低年齢の子供とその保護者や子供同士のコミュニティの場、そして自宅以外に気軽に行ける居場所をつくります。
21	美馬市	みんなの居場所 えんじえる	藤澤 理恵	学習支援・イベント 学校以外で安心してコミュニケーションが取れる心の居場所となるため。
22	勝浦町	ヤオハチ食堂運営委員会	渡邊 祐介	こども食堂・イベント 孤食やいじめ、虐待など子どもに降りかかるトラブルを防止する。 孤立している子どもに新たな居場所を提供する。関連機関と連携し、トラブルの把握・解決を図り地域で子どもたちを守る。
23	上勝町	上勝キッチンめぐり家	酒井 里美	子ども食堂・多世代交流 町外から移住される方が増えた上、少子高齢化が急速に進む中、住民同士が知り合う機会を増やす事。特に子育て世帯と若者や高齢者が交流を図り、繋がりを持つ場となる事を目的とする。
24	佐那河内村	ネウボラさなごうち	山木 麻記	こども食堂・多世代交流・イベント 佐那河内村は、人口2000人程、面積42.3km ² の小さな村で、役場から車で10分以内にほとんどの家が建っている。子どもたちの登下校は保護者による送迎がほとんどで、学校または自宅で過ごすことが多く、放課後や休日に子どもたちで集まって喋ったり遊んだり宿題をする場所はない。学校や自宅以外のホッとできる場所が必要な子どももいる。子ども食堂という食事を共にする形態にすることにより、リラックスした雰囲気の中で必然と会話や交流が生まれる。また、孫を連れてくる高齢者などもいて、多様な世代の交流にもなる。何かをやらされることもなく、やりたいことだけをやるわけでもなく、やれることをやれる人がやる。人が集まることで生まれる楽しさや、自然と生まれる秩序、人間関係の学びの場を作っていく。
25	石井町	みんなの教室「たいせつなこと」	濱田 恵	学習支援・イベント 「たいせつなこと」とは何かをテーマに。子どもたちと一緒に「たいせつなこと」を大切に活動を提供する。地域の方に協力を依頼し、防災や環境などをテーマに課題を見つけ、共に地域の課題に取り組む。 一人一人の「たいせつなこと」に耳を傾け、心に寄り添い、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供する。
26	松茂町	あるでないで	河野 玲子	イベント 地域の子ども達と保護者が集える居場所づくり
27	北島町	北島子ども食堂あすなる	永井 英彰	子ども食堂・多世代交流 核家族化等の生活様式の変化や、社会全般の関係性の変容などから地域での子育て環境が孤立している状況は否めない。また、SNS等の媒体は発展している一方で顔見知りの関係性は希薄化していること等を鑑み、家庭だけではなく地域全体で支えていく。食事の無償提供を通した子育て環境の構築を目的に開催する。
28	北島町	ひなたぼっこ	長岡 優子	体験活動 子どもの発達に不安を持つ親子の孤独を防ぐ。
29	北島町	東高房わっしょい広場	天野 修	イベント 核家族化や地域のつながりの希薄化等の影響を受け孤立しがちな子育て環境を補完し、子供の健全育成を地域全体で支えている。
30	北島町	北島いきいき子ども食堂	賀好 由紀	こども食堂・多世代交流・防災学習 様々な環境下にある子ども達に安心安全で楽しい食事時間の提供と居場所を定期的に提供する。また、県産の食材を使う事で徳島の食の素晴らしさの認知に繋げる。食育を通じて食材のもつ栄養面の知識や旬の野菜を使った料理を提供する。親や地域のシニア世代など異世代交流に取り組む高齢者をはじめとする孤食減、地域防災の強化に取り組む。
31	藍住町	Suunyこどもゆめ広場	高野 隆志	学習支援・フードパントリー 子どもが利用できる自習室がほとんどない藍住町において、自由に学習できる居場所と機会の提供。
32	藍住町	一般社団法人子ども未来サポートもく	内村 不二子	イベント 孤立する子どもの社会進出や、貧困家庭の食材提供による救済。

33	上板町	上板なかよし子ども食堂	瀬部 昌秀	子ども食堂 地域の子どもから高齢者まで、だれでもが仲良く楽しく集い、安心して暮らせるまちづくりを目的とする。
34	那賀町	まんなかの学校	藤園 麻里	子ども食堂・多世代交流 那賀町は森林率95%と自然資源に恵まれるも、交通網は脆弱、過疎、少子化高齢化問題を抱える中、廃校が増え、子ども同士の交流も困難な現状です。放課後の子どもが必要とする学習とコミュニケーションの機会を作ることを目的とします。
35	牟岐町	一般社団法人うみのこてらす	藤園 麻里	フリースペース・学習支援、ワークショップ 人間関係や体験の機会が限定されがちな過疎地域において、とくに思春期の世代を中心に子どもたちが孤立することなく、豊かな交流と学びの機会となることを目的とする。
36	海陽町	一般社団法人ふらっと	岩本 優	子ども食堂・多世代交流 町内で唯一の駄菓子屋が高齢化で閉店。保育所から大人までの拠り所がなくなった。毎月カレー他を集ってきたみんなでワイワイ食べ、世代交流することで海陽町に活気を取り戻す。
37	東みよし町	ほっこりタイム	乾 ハルヨ	子ども食堂、多世代交流 地域の子どもを中心に様々な学識や経験を持つ大人たちとの交流を通して子どもの選択を増やすことを目的とする。